

～ 別 院 だ よ り ～

本 願 力



結願日中・行道散華

発行

真宗大谷派 本願寺横浜別院

〒234-0051

横浜市港南区日野一―十一―八

TEL (〇四五) 八四一―三四三四

<http://www.yokohama-ohtani.com>

御遠忌に、ようこそお参りくださいました 輪番 竹部 俊恵

四月二十五日、二十六日、澄み渡った青空に、さわやかな風が吹くおだやかな天候のもと、御本山真宗本願寺、京都・東本願寺より大谷暢願門首、妙子夫人をお迎えし、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要を厳修致しました。二十五日は、子ども御遠忌に始まり、逮夜法要、三明先生の法話、御門首御執行の帰敬式、夕べのついで(やなせなさんのコンサート)。翌二十五日は、晨朝法要、三明先生の法話、そして、庭儀から始まる満日中法要に至るまで、行事の全てが、有り難いことに、満堂、乃至はそれ以上の御参詣でした。本堂に入りきれない方々は、研修室のモニターテレビでの参拝でした。皆様、本堂にようこそお参りくださいました。心から御礼を申し上げます。私は、このにぎわいを目の当たりにして、ことのほかうれしく感慨深いものを感じました。それは、人の数が多いと言ふよりも、このにぎわいを生んでくださったのは、別院門徒、崇敬区域内全寺院・門徒、東京教区及び全国の皆様、そして、近隣の皆様の「仏徳讃嘆」「別院御崇敬」の念が、御懇念をお届けくださり、当日まで、そして、当日に身を動かしてくださったことによっていると確信できたことが、うれしかったのです。

思い起こせば、八年も前から、何十回、何百回となく、多くの方々にお集まりいただき、協議を重ねた中から、この度の御遠忌が圓成しました。この姿を拜見し、皆さんには、すでに別院御崇敬の熱い厚い思いがあったことがよく分かりました。ですから、今回の御遠忌は、それが見えるものになったことに、いちばん大きな意義があったと思います。

今後は、皆様のそのお力で、本願寺横浜別院が、本来別院に願われている「地域の教化の中心道場」言いかえれば「神奈川教化センター」として、人々が交流しあう場となりますよう、続けてお力を頂戴したいと念じております。生きること、老いること、病むこと、死することが、本堂に見えにくく、向き合にくい、混乱する現代社会の中で、それらを南無阿弥陀仏の教えの中から、聞き聞き、真の安心と喜びを見出し参りましょう。今後とも読者の皆様の御高見とお導きを合わせてお願いを申しあげます。

合掌

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要 (四月二十五日)



(四月二十六日)



二〇一五年度第一回 横浜別院声明儀式研修会のご案内

- 【日時】六月十一日(木)午後一時半～四時半
- 【講師】友松雅英師(東京二組西岸寺住職)
- 【内容】未定(後日、詳細をお知らせします。)
- 【会場】本願寺横浜別院
- 【参加費】無料

※寺院・寺族対象の研修会です。

先般、横浜別院御遠忌法要を無事に円成させていただきました。今年度は装い新たに研修会を行います。間衣・輪袈裟にて、「大谷声明集(上)」「真宗の儀式」等をご持参ください。
お誘い合わせの上、ご参加ください。

【お知らせ】

永代経法要の個別案内について

今回の御遠忌法要懇志金を頂戴した別院門徒の皆様には、永代経法要の個別案内を差し上げることになっておりますが、二〇一六年三月末日まで引き続き御遠忌懇志金の受付をしております。その関係から、次年度(二〇一六年五月)から個別案内を開始させていただきます。
何卒、ご了承いただきますようお願い申し上げます。
お手数ですが、ご不明な点は、本願寺横浜別院(045・841・3434)までお電話ください。

行事予定

五月

定例法話 午後一時半より

九日(土) 輪番 竹部 俊恵 師

六月

定例法話 午後一時半より

九日(火) 三浦組圓照寺 稲垣 裕之 師

二十八日(日) 輪番 竹部 俊恵 師

おみがき 午前十時半より

六日(土) ※本堂の仏具を磨きます。軽食あり。

※五月十八日、六月十八日はお休みです。

永代経法要 ご案内

日時 五月二十八日(木)～二十九日(金)

法要 両日午後一時半より

法話 海 法龍 師(三浦組・長願寺住職)

永代経法要は、亡き人を偲ぶという願いによつていただくお経ですが、それは亡き人をご縁として仏法を聴聞していくということです。お誘い合わせの上、ご参詣ください。

編集後記

新緑季節となりました。外に出ると暑いくらいの陽気が続いております。この時期での暑さでは、本格的な夏が今から思いやられます。

さて、周知のとおり四月二十五日二十六日に宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が御親修のもと執り行われました。両日とも沢山の方々が参詣に來られ、帰敬式、庭儀列(稚児行列)、夕べの集いコンサートも無事に終了しました。

四月に入ってから御遠忌までの期間は、実務的な準備に追われ、忙しい日々でしたが、無事に御遠忌をお迎えすることが出来ました。何事もなく無事終了できたことに、職員一同ホッとしております。

私事ですが、気がつけば体重が三キロ落ちていました。健康診断も近いので元に戻らないように維持していきたいと思っております。

(佐竹)